

令和3年度 地域国際化協会職員国内研修(事業担当者向け)

地域国際化協会連絡協議会(事務局:クレア多文化共生課)では、毎年、相談窓口での対応にあたる職員の方などを対象に研修を実施しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も含め増加する外国人住民からの相談対応をテーマとして、二部構成のオンライン講義を行いました。

第1部は「外国人在留支援センター(FRESC)について」と題し、出入国在留管理庁在留管理支援部在留支援課長の田平浩二氏ほかに、第2部は「コロナ禍における外国人住民からの相談対応～多文化ソーシャルワークの視点から～」と題し、東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授の南野奈津子氏にご講演いただきました。

参加者からは、「FRESC のことを知ることができてよかった。実際にあった具体的な相談事例もとても参考になった」「話を丁寧に聴いてあげるといふ姿勢で対応することが最も重要という内容に共感した」といふ感想の一方、「全国からの参加者とワークショップをしたかった」といふ意見も聞かれました。

今後も、地域国際化協会職員の人材育成に資するものとなるよう、参加者のニーズに沿った研修を実施してまいります。

1 対象者

地域国際化協会職員(事業担当者)

2 日時

令和3年8月24日(火) 13時30分～16時00分

3 開催方法

オンライン(ZOOM)

5 テーマ

コロナ禍における外国人住民からの相談対応

6 内容

新型コロナウイルス感染症の影響も含め増加する外国人住民からの相談に対応するため、関係機関の事業内容を把握するとともに、多文化ソーシャルワークに関する知見を学び、今後の協会運営に繋げるもの。

7 講演テーマと講師

	時間	所要	講演テーマ	講師
第一部	13:35 ～ 14:20	45分	第一部 外国人在留支援センター (FRESC)について	出入国在留管理庁 在留管理支援部 在留支援課
第二部	14:30 ～ 16:00	90分	第二部 コロナ禍における外国人 住民からの相談対応 ～多文化ソーシャルワー クの視点から～	東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 南野 奈津子 教授

資料抜粋

目次

1 外国人在留支援センター (FRESC) の取組	2
2 地域における支援機能の強化	8
3 情報提供機能の強化	12
4 相談対応・連携事例	18
5 コロナ禍における在留資格の特例措置	23

4. 多文化ソーシャルワークとは何か



・まず「ソーシャルワーク」とは

「**社会正義**や**多様性の尊重**を基盤として、**人権侵害**や**不平等**にさらされている人々の生活課題に取り組み、**ウェルビーイング**を高めるよう、**人々やさまざまな構造に働きかける**」ことを理念とする、実践および理論。

・本人や家族への支援のみを行うのではなく、**その状況を生み出している地域や社会制度など、当事者をとりまく環境を変えるような取り組みも行う**